

『研究紀要』第59集の発刊によせて

校長 安藤 聡彦

ここに『埼玉大学教育学部附属中学校研究紀要』第59集をお届け申し上げます。

本校では、昨年度から「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」という研究テーマを掲げ、学校全体で研究活動に取り組んでおります。コロナ禍はもとより、ロシアによるウクライナ侵攻や地球温暖化など、幾層もの困難な課題を抱える現代世界においては、そこを生き抜きながら、その世界のあり方を少しでもより良いものとしていくことができる力の育成が求められます。私たちの研究のキーワードである「挑戦心」は、まさにそうした力の核心であり、本校で学ぶすべての生徒がひとりひとりに即した形でこの「挑戦心」を身につけてくれることを私たちは心から願っています。

本紀要には、上述の研究テーマのもとに校内で実施された3回の研究会の報告が収録されています。また、このテーマを土台としつつ展開された個人研究ならびに共同研究を収めています。今年の本校における研究成果の一部としてお読みいただき、また様々な形でご意見ご批評を頂戴できればありがたく存じます。

学び続ける者こそ学びを支えることができる、ということはいつの時代にあっても真実でありましょう。けれども、きわめて多くの課題を抱える現代学校において、「学び続ける」という営みを日常的に展開していくことは容易なことではありません。その意味では、「学び続ける教師とはどのような教師であるのか？」を絶えず問い直し、その具現化に向けて様々な模索を重ねることが私たち自身にとって不可欠な〈挑戦〉なのだと思います。

末筆とはなりますが、私たちの研究活動に対してご指導ご助言いただきました各方面の皆様にご心から御礼申し上げますとともに、今後なお一層のご鞭撻をお願い申し上げます。